

「行持報恩」

令和三年九月三十日（木） 於 加茂法話会

愛猫の臨終に立ち会いました。

静かに息をひきとり、肉体を離れ仏様の世界へ旅立ちました。仏様の世界とわたしを繋いでくれた愛猫くーちやん。ありがとう。

天地一杯に漲みなぎっているこのいのち、凡てのものが、そこに生き、そこに死するところ、そこより外に行くところのない大いなるいのちに気づかせて頂いたそのご恩は、何よりも有り難く、ご恩に報いなければならぬ。

曹洞宗宗務庁版 修証義 行持報恩 解説依り

其の報謝は余外の法は中るべからず、唯当に日日の行持、その報謝の正道なるべし、謂ゆるの道理は日日の生命を等閑にせず、私に費やさざらんと行持するなり。

修証義 行持報恩

日々の命を大切に、仏道に適った生活をつとめることがその恩に報いることである。

慶徳寺 金子重典 合掌